



2025 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社エイチ・アイ・エス
代 表 者 名 代表取締役社長(CEO) 矢田 素史
(コード番号 9603 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 新 規 事 業 戦 略 、
リ ス ク ・ コ ン プ ラ イ ア ン ス 、
C S ・ E S 、 総 務 担 当 五 味 睦
(TEL 050-1746-4188)

HIS グループにおける再発防止策実施の進捗報告

当社は、当社グループが受給した雇用調整助成金等において、一部、不正・不適正受給があったことに対し、2025 年 3 月 31 日付「再発防止策の策定に関するお知らせ」のとおり、再発防止に取り組んでおります。このたび、6 月 13 日時点における再発防止策の進捗状況について、下記のとおりご報告いたします。

記

1. コンプライアンス意識の醸成

コンプライアンス遵守とガバナンス強化のトップメッセージをあらためて子会社社長に伝え、それを受けて、各子会社の社長から社内へのメッセージを通達することで、グループ全体のコンプライアンス意識の統一と方針の共有をおこないました。そのうえで、まずグループ内の役員を対象とし、外部講師を招いたリスク・コンプライアンス研修を実施いたしました。各階層に向けての研修も構築中であり、継続的に実施してまいります。

2. グループガバナンスの強化

独立社外取締役監査等委員を委員長とした、子会社ガバナンス検討委員会を取締役会の諮問委員会として立ち上げ、専門家の助言も取り入れながら、課題に対して優先順位を付けて検討を進めております。既に、不正と認められた子会社役員の一部変更はおこないましたが、全てのグループ会社役員の在任期間を再確認し、任期基準等について討議しております。

子会社の管理部門体制の強化のため、人員増に向けて取り組むとともに、専門家の意見も取り入れ管理体制の検討、改善を進めております。国内の子会社については、関係会社管理規程の見直しにより公的助成金等に関する項目を追加した改定をおこないました。海外の子会社についても現状を確認したうえで対応を検討します。

また、リスク・コンプライアンス委員会の位置づけを諮問委員会とし、リスク管理機能を向上させるグループ全体のリスクと対策についてあらためて確認し、モニタリングをおこなうことでリスクの早期発見と対策につなげます。

3. 公的助成金の申請における内部統制の見直し

関係会社管理規程の改定により、国内の子会社での助成金申請の管理や親会社への報告に関するルールを明確にし、グループ内への周知と運用を開始します。親会社の内部統制として、申

請、管理業務フローを構築中であり、運用により牽制を機能させます。

4. 労務管理の徹底

勤怠管理の新たな手法の検討をおこない、親会社にて勤怠記録と実態の乖離をモニタリングする仕組みを試用する段階です。また、第二線にあたる各社の人事担当への研修を構築中であり、各社でのモニタリング実施を推進します。同時に、国内、海外子会社の労務管理等に関する現状を確認しており、それぞれに適した対策を検討します。

5. 内部通報制度の周知及び活用の促進

内部通報制度の信頼性を高めるため、グループ全体へ親会社の社長よりトップメッセージであらためて窓口の周知と信頼性について伝えました。今後も定期的な情報発信を継続し、活用を促進します。

また、通報内容により現存の外部窓口に通報しづらい場合に選択できるよう、別の外部窓口を新設し、運用してまいります。内部通報の一層の活用により、問題の未然防止、早期発見につなげます。

6. 内部監査体制の見直し

経営陣からの独立性を担保し権限を強化するため、内部監査規程の改定をおこないました。監査方法・方針の見直し、内部監査の効率的かつ効果的な実施に向けたリスク・アプローチの高度化についても既に取り組んでおり、継続します。人員増への取り組みを進めると同時に、研修受講等による既存人員の専門性の向上にも努めております。

引き続き、再発防止と信頼回復のために、子会社ガバナンス検討委員会の活動や関連部署での検討、改善をおこなってまいります。

以上